

第47回九州地区道徳教育研究大会宮崎大会あいさつ

宮崎県中学校教育研究会道徳部会
会長 原田 浩之

第47回九州地区道徳教育研究大会宮崎大会並びに第39回宮崎県小・中学校道徳教育研究大会を、令和5年11月9日(木)より11月24日(金)まで開催いたします。本県での研究や準備を進めるにあたりましては、これまでの数年間のコロナ禍による影響も大きく、本大会はWebコンテンツを活用して開催させていただくこととなりました。

九州各県、各学校におかれましては、道徳科教育研究及び実践が計画的・発展的に進められていることと思いますが、その過程では多くのご苦勞もおありではないでしょうか。現在の社会状況や世界情勢を鑑みますと、価値観の多様化、情報化、グローバル化等、今後ますます加速していくことが予想されます。様々な対応や課題解決が求められるであろうこれからの時代を生きていく子どもたちに、よりよい自分をつくりながら、身近な人や世界の人たちとともに生きていく力を身に付けさせるために、道徳科が果たすべき役割は大変大きいものがあると考えます。

本大会は、研究主題を「よりよい自分をつくり、ともに生きる力をはぐくむ道徳教育」、副題を「子どもが『考え』『議論する』道徳教育の実現をめざして」とし、本県では小・中学校合同で研究を進めてまいりました。今回、宮崎市3校、延岡市1校、国富町1校、美郷町1校の計6校の小・中学校を会場に授業を行っていただきましたが、授業者の先生方は、これまでの経験や各学校の取組、また、新たな学びをもとに研究を進めてこられたことが分かる授業を提供してくださいました。児童・生徒たちが学び・生活している場所や学年はそれぞれですが、その地、その学年、それぞれの特徴に則した題材や課題をもとに、考え、議論する授業が行われたのではないかと考えます。

課題別分科会におきましては、本県を除く九州各県小・中学校の取組が10の分科会(小学校7分科会、中学校3分科会)としてWeb上で発表されます。これまで、各県、各市町村、各学校で研究と実践に取り組んでこられたことに敬意を表しますとともに、取り組んで来られた具体的実践や成果を知ること、新たな学びが得られる貴重な機会になるだろうと楽しみにしているところです。

大会期間中は、多くの皆様にご参加いただけるものと思いますが、本大会を今後の道徳教育実践のための一助としていただけると幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、九州各県の小・中学校道徳教育研究会、宮崎県教育委員会、各市町村教育委員会、宮崎大学、上廣倫理財団等、多くの皆様からご支援ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げますとともに、本大会にご参加くださる皆様の今後ますますのご活躍を祈念申し上げ、挨拶といたします。